



田原市地域コミュニティ連合会

会報第10号
2016. 1. 15

- 「田原市地域コミュニティ連合会」は、地域コミュニティによる“自主的なまちづくり”を目指すため、それまでの総代会に代わって、平成23年度に発足しました。
- 連合会では、地域コミュニティ活性化のための調査・研究、定例理事会などでの意見交換、交流スポーツ大会、市への要望活動などを行っています。

◆平成27年度 連合会活動方針

目標とする地域社会	“誰もが暮らしやすい社会”
活動目標	みんなが参加し、互いに尊重・助け合う地域づくりの場
推進項目	①コミュニティ活動の目的・目標をみんなで共有しましょう。 ②一人ひとりが出来ることから取り組む全員参加のまちづくりを進めましょう。 ③情報交換や交流イベント等により、連帯意識を高め、人づくりを進めましょう。

■連合会研修会の開催

平成27年10月21日（水）／田原市役所 講堂

日本では少子化による人口減少が進んでおり、平成72(2060)年の推計人口は8,674万人、同時に高齢化も進行し、平成72年の65歳以上の人口割合は39.9%に達すると予想されています。田原市においても同様に少子高齢化が進んでいくものと考えられます。

これからの人口減少時代における地域コミュニティは「何を指して、何をするために、どのようにしていくべきか。」という地域コミュニティのあり方について、愛知大学地域政策学部 鈴木誠教授を講師にお迎えして研修会を開催しました。

各校区コミュニティ協議会の希望者93名の方にご参加いただき、人口問題などの社会情勢を背景に、地域として行政としてどのように地域を盛り上げていくかの実例を挙げて講演していただき、有意義な研修会となりました。



講話概要

- 地域コミュニティを取り巻く社会背景
(少子高齢化・人口減少)
(地域コミュニティに求められるもの) 等
- 地域コミュニティの活性に必要なこと
- 地域コミュニティ活性事例

■先進活動事例の視察研修

田原市地域コミュニティ連合会では、他県・市町村の地域コミュニティ等の活動先進事例を研究し、地域の問題解決の参考とするため視察研修を行っています。

今回「三重県伊賀市 地域づくり推進課・西柘植地域まちづくり協議会」「滋賀県甲賀市 あずま自主防災会」の取り組み事例を研修しましたので、自分たちの地域活動に活かしたいと思います。

平成27年7月9日（木）／（三重県伊賀市）地域づくり推進課、西柘植地域まちづくり協議会

◆視察先対応◆

- ・西柘植地域まちづくり協議会長、副会長、事務局長
伊賀市地域づくり推進課長

◆地域の概況◆

- ・上野市・伊賀町・島ヶ原村・阿山町・大山田村・青山町の6市町村が平成16年1月に合併し伊賀市が誕生。
- ・人口94,991人、39,386世帯。人口減少や高齢化が進行している。

◆活動の状況◆

- ・各住民自治協議会で「地域まちづくり計画」を策定して、その計画に基づき事業を実施。
- ・地域包括交付金により、地域活動を支援。
- ・地域活動支援事業補助金により、自治組織の自主的な提案（プレゼン）事業の支援。
- ・協議会による地域PR、松尾芭蕉にちなんだ「伊賀の東北“ミニおくのほそ道”」提案事業の実施。
- ・活動資金集めの際にノウハウを持つ地域の人材を発掘



参加理事の意見（抜粋）

- 地域の魅力を自分たちで作り出し、**みんなで盛り上げる活動**がよい。
- 田原より高齢化が進んでいると感じたが、活動は**自主的な活動になっている**と思われた。
- 役員が地域を愛する情熱を大いに感じた。田原は山間部の伊賀より地の利があるため、活かした取り組みをしっかりと考え行動しなければいけない。

平成27年7月10日（金）／（滋賀県甲賀市）あずま自主防災会



参加理事の意見（抜粋）

- 「**自分たちの地域は、自分たちで守る**」意識が高いと感じた。
- 毎年**テーマを決めて訓練**をしていることが、防災力の継続的な向上につながっている。
- リーダーシップの必要性を感じた。
- 地域によって被害想定も異なる。**地域にあった取り組み**を考えていかなければいけないと感じた。

◆視察先対応◆

- ・防災会事務局長、防災隊長ほか4名

◆地域の概況◆

- ・平成17年設立。事務局及び防災隊の多くは設立当初のメンバー。現在78名で活動。
- ・旧東海道宿場町。土山地域の南東区121戸、北東区80戸で組織。

◆活動の状況◆

- ・地域の課題「東南海地震の恐れ」「薄れていく地域のつながり」「一人暮らし高齢者・高齢世帯の増加」に対し「自分たちの地域は、自分たちで守ろう」を言葉に取り組み。
- ・防災マップ、広報誌の作成等の啓発活動が主。
- ・活動を通じ地域住民が知り合いとなることで、「いざ」という時の助け合いになる。
- ・PDCAの繰り返しによる継続性を重要視。役員が楽しみながらやることも大事。

■校区交流スポーツ大会の開催

平成27年6月20日（土）／渥美運動公園屋内競技場



5 回目となる校区交流スポーツ大会が、渥美運動公園屋内競技場で開催されました。

この大会は、市教育委員会・市と連携し、地域におけるスポーツ振興と地域内・**地域間の交流・連帯意識の向上**を図ることを目的として開催しているもので、全20校区コミュニティ協議会から合計456人もの方が参加がありました。

合併前は各町で町民体育祭などの行事が行われ、自分が住む地域以外の方たちと交流する場があったのですが、こうした機会がなくなったという声があり、平成23年度から連合会事業として実施しているものです。

競技は「玉入れ」と「フライングディスクゴルフ」の2種目を行いました。激しい競技ではないので、**女性、高齢の方でも気軽に参加**でき大変好評であったと思います。昨年度よりも多い参加者に加えて、**ちびっ子の応援団**の姿も会場のあちこちで見られました。子

どもたちの声援を受け、大人たちも普段なかなか見せない笑顔と大きな歓声で会場が賑わっていました。

大会結果につきまして、「玉入れ」は鈴木連合会長率いる童浦校区コミュニティ協議会が、「フライングディスクゴルフ」は村上会長率いる田原東部コミュニティ協議会が優勝を飾りました。惜しくも優勝を逃した協議会の会長さん方も優勝チームをたたえ、すがすがしさを感じる良い大会とすることができたと思います。本年度より新たに会長特別賞として「がんばりま賞」を設け、残念ながら競技の成績が振るわなかったチームに、次年度のがんばりに期待をこめて賞を送りました。

地域間交流を促進し他の地域のことを知ることは、自分たちの地域だけではうまくいかない課題を解決する糸口として重要なことと思います。

これからも交流事業の開催をしていきたいと思いますので、多くの方の参加をお願いします。



■校区交流スポーツ大会 結果

玉入れ

優 勝	童浦校区コミュニティ協議会
準優勝	泉校区コミュニティ協議会
第3位	高松コミュニティ協議会 若戸校区コミュニティ協議会

フライングディスクゴルフ

優 勝	田原東部コミュニティ協議会
準優勝	童浦校区コミュニティ協議会
第3位	亀山コミュニティ協議会 中山校区コミュニティ協議会

■地域活動支援要望書の提出

平成27年10月1日（木）／田原市役所 応接室

代表役員3名で、地域コミュニティ団体へ支援を求める**地域活動支援要望書**を、山下市長へ提出しました。

田原市市民協働まちづくり条例で、まちづくりの基礎的団体と位置付けられている地域コミュニティ団体である私たちの活動、施設整備について平成28年度における継続支援を求めるとともに、市において道路・河川的环境整備等について重点的に取り組みをしていただけるよう要望したものです。



●重点要望の概要

①道路・河川等の改善

道路交通環境整備や自然災害に対応した河川・海岸の整備

②地域活動拠点等の整備

地域コミュニティ活動拠点の整備及び整備補助金の確保

③支援体制の充実

「まちづくり推進計画」作成に関わる支援・指導の充実

山下市長からも、「地域はまちづくりの根幹であり今後も支援を行っていく」とのお話をいただきました。

■コミュニティ活動のご紹介

高松コミュニティ協議会では、「校区まちづくり推進計画」に位置づけている**“盆踊りの復活”**に取り組みました。

子どもからお年寄りまでが一同に集って楽しめる行事として、**PTAのOBを中心に**選曲、踊りの練習など手がけました。

フレンドシップ（海岸イベント）、市民館まつりと同日開催としたことにより、一日中楽しめる日となりました。



自治会加入・地域活動への参加のお願い

自治会では、親睦交流活動、防災活動、交通安全・防犯活動、清掃活動など皆さんが住みやすくなるようないろいろな活動をしています。そこに住む一人ひとりの力が必要ですので、自治会加入・活動参加をお願いします。



■平成27年度 連合会の主な事業運営状況

4月	定期総会・地区行政連絡会
6月	校区交流スポーツ大会
6月	連合会会報（9号）発行
7月	先進地視察研修
10月	地域活動支援要望書提出
10月	連合会研修会
1月	連合会会報（10号）発行

●その他・定例理事会開催（毎月）

- ・各種審議会への委員参加（随時）
- ・地域コミュニティ活性化研究会の開催

連合会ホームページをご覧ください

田原市地域コミュニティ連合会では、活動内容や各校区のイベントなどの情報をホームページでお知らせしています。ぜひご覧ください。

田原市地域コミュニティ連合会

検索

編集：田原市地域コミュニティ連合会事務局
（田原市役所 市民協働課）

電話 0531-23-3504
メール tahara-komiren@city.tahara.aichi.jp
ホームページ <http://tahara-komiren.com/>